

# NEWS RELEASE

光電子増倍管の生産能力拡大と開発強化に向け  
豊岡製作所、第10棟が完成  
竣工式は5月15日

2015年5月14日  
**浜松ホトニクス株式会社**  
本社：浜松市中区砂山町 325-6  
代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社は、電子管事業部の主力拠点である豊岡製作所（静岡県磐田市）の北側造成地に第10棟を建設していましたが、この度完成し、8月から稼動を開始します。

竣工式は5月15日に執り行います。



電子管事業部では、10年前にヘッドオン型光電子増倍管を生産する第1棟を建設後、PETなどの核医学関連用や石油探査用の売上が大幅に伸びました。しかし、近年ではヘッドオン型光電子増倍管の生産スペースが手狭になったため、新たに建設した第10棟では、製作所内の第1棟と第4棟に分散しているヘッドオン型光電子増倍管の生産ラインを集約し、一貫生産工場として生産の効率化を図るとともに新製品の開発に取り組みます。また、今後予想されるニュートリノ実験やダークマター実験など素粒子物理学実験用の光センサーとして要求される各種光電子増倍管の増産にも対応します。

第1棟の生産ライン移転後の空きスペースを利用して、 $\mu$ PMTの量産体制に向けて設備投資を行い、大量受注に対応します。また、ガラス材料の加工をしている天王製作所の生産ラインも第1棟に移転し、作業の効率化を図ります。

新棟建設により、売上高100億円規模に相当する生産能力の拡大が可能となり、電子管事業部の連結売上高600億円に相当する生産能力を確保します。

竣工式などの詳細につきましては以下の通りです。

## < 竣工式 >

式典名称	浜松ホトニクス株式会社 豊岡製作所 第10棟 竣工式
日 時	2015年5月15日（金）午前10時30分～
場 所	静岡県磐田市下神増314-5 豊岡製作所 第10棟

## < 新棟概要 >

建物名称	豊岡製作所 第10棟
建築場所	静岡県磐田市下神増314-5 豊岡製作所内

建築工期	2013年9月着工 2015年5月竣工
生産開始	2015年8月予定
建築構造	鉄骨造4階建
建物面積	建築面積 6,351㎡、総床面積 21,362㎡
施設構成	1階 大口径光電子増倍管の製造 2階 大口径光電子増倍管と新規開発製品の製造、医療装置用光電子増倍管の製造および検査（クリーンルーム、クラス10,000） 3階 第1棟と第4棟の核医学関連用や石油探査用光電子増倍管の製造移転と新製品開発（クリーンルーム、クラス10,000） 4階 機械室
総工費	約65億円
収容人員	約200名
生産品目	ヘッドオン型光電子増倍管
生産能力	年間連結売上高換算 100億円の拡大

以上



この件に関するお問い合わせ先  
 ■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤利行  
 〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル  
 TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:tnozawa@hq.hpk.co.jp  
 時間外は、携帯電話 090-7695-1616 へお願いします